

近年になり認識され始めたもので、今後、胃がん検診のあり方も含め研究したい。

**藤井健康生活課長**

国の胃がん検診ガイドラインでは、「X線検査を推奨しており、ABC検診は推奨しない」との見解があります。牟岐町が検診業務をお願いしている徳島未来

健康づくり機構での検診項目にはなく、導入には至っていません。

ABC検診は血液、便、

尿での検査となりますので、採血をしています特定健診での検診項目にABC健診を追加できないか、健診料金も含め、徳島未来健康づくり機構と協議したい。

**敬老祝金はバラマキか**

**藤元 雅文 議員**

敬老祝金は、長寿を祝福することを目的に町条例に基づき支給されているものであり、町民のみなさんや歴代町長からもバラマキ発言など聞いたことがあります。ましてや、毎年6月議会に敬老祝金や記念品の予算を提案してきた町長の口からそんな発言を聞くとは思いませんでした。

バラマキ発言は、条例と、今日までの町行政、住民の努力を全否定するものです。

撤回する気持ちはありませんか。

また、祝金の削減案が出ていますが、町の資料に基づき人口推計では、今後、予算が爆発的に大きくなるということは考えられません。長年続けてきた事業でもありませんし、性急な対応をしない方が良いのではないかと。

つどいについても廃止案が出ているが、成人式が、そうであったように、創意

工夫し充実させる必要があるのではないかと。

**福井町長**

本町では、地震津波対策として、小学校、保育所、海部病院の高台移転を進めています。この3つの大事業により、今後の牟岐町の財政は大変厳しくなることが予想されます。今後、全ての事業について必要性を精査すべきであり、これまでも継続してきた事業についても現時点において必要な事業かどうか見直しを行うべきであると考えています。

現在、75歳以上の方は、一律に祝金を支給されており政策や行政的な目的、支給の意味合いが、条例制定当時とは大きく異なっています。したがって、財政縮減の対象になるものだと考えています。バラマキ発言については、不必要、不適切な発言であったと反省しています。

敬老の日のつどいについては、旧態依然とした式典を重ねるのではなく工夫したいと思います。

**岩田住民福祉課長**

平成35年までの人口推計では、75歳以上の合計が、1,158人から1,293人と増える傾向にあります。

**給食センターの民間委託について**

**藤元議員**

法的には許されるとしても、民間委託ではなしに、行政が、しっかりと責任を果たさなければならぬのが教育にかかわる部門です。学校給食は、ただ単に食事

を提供するだけでなしに学校教育の一環として行われているものです。給食調理民営化で問題になるのが、偽装請負、労働者派遣法違反です。学校給食法に基づき業者との関係を密にすればするほど法違反になりますし、逆の場合は教育の場としての役割が果たせなくなってしまう。

また、300に満たない調理数で、しかも、人員を揃えてどれだけの経費が削減できるのか疑問に思っています。さらに、委託業者選定委員会に町議を含めているが、問題はないか。



学校給食センター調理場